

長崎県総合評価落札制度 検討委員会（第2回）

平成21年1月23日
長崎県土木部建設企画課

第1回委員会の質問事項

- ① 沖縄県の利益率が高い理由は。
- ② 1企業当たり落札件数での、落札0件の企業数は。
- ③ 九州各県の総合評価落札制度は如何に。
- ④ 長崎県での総合評価落札方式の費用対効果は。

① 完成工事高営業利益率が沖縄県が高いのはなぜか

九州各県における落札率と完成工事高営業利益率の関係

(平成18年度)

都道府県名	長崎県	福岡県	佐賀県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
落札率	89.2%	93.1%	89.7%	95.1%	89.7%	93.3%	95.6%	90.1%
最低制限価格 設定率	85%	76%	80%	83%	76%	83%	76%	83%
完成工事高 営業利益率	-0.12%	0.94%	0.33%	0.52%	0.31%	0.86%	0.82%	2.03%

- 九州各県における許可業者数と工事出来高の関係をみると、民間及び公共を合わせた1者当たりの工事出来高が長崎県は最下位となっており、本県においては工事発注量と業者数の需給バランスが崩れ、過当競争状況となり、利益率の低下を招いているのではないかと考えられる。

平成19年度 九州各県における許可業者数と工事出来高の関係

都道府県名	長崎県	福岡県	佐賀県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
許可業者数	5,895	23,284	3,598	7,300	5,004	5,525	6,343	5,207
工事出来高 (百万円)	民間	191,726	1,185,957	179,944	350,010	302,321	191,448	297,439
	公共	239,305	545,169	218,538	284,881	222,674	226,192	395,861
	合計	431,031	1,731,126	398,482	634,891	524,996	417,640	693,300
1者当たり 工事出来高 (百万円)	民間	32.52	50.93	50.01	47.95	60.42	34.65	46.89
	公共	40.59	23.41	60.74	39.02	44.50	40.94	62.41
	合計	73.12	74.35	110.75	86.97	104.92	75.59	109.30

※ 出典

許可業者数:建設業許可業者数調査の結果について(総合施策局建設業課入札制度企画指導室)

工事出来高:建設総合統計(総合施策局情報安全・調査課建設統計室)

② 1企業当たりの落札件数

落札回数		平成20年度 総合評価 工事 (企業数)		平成19年度 土木 一式 工事 (企業数)	
12		1		—	
6		1		2	
5		2		—	
4		2		7	
3		3		4	
2		12		14	
1		15		61	
0		<u>153</u>		<u>146</u>	
工事 件数	落札企業数	84 件	36 企業	141 件	88 企業

③ 九州各県の導入状況

	長崎県	福岡県	佐賀県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
対象額	1億円 以上	5千万円 以上	6千万円 以上	4千万円 以上	5千万円 以上	8千万円 以上	設定なし
加算点	20点・30点	20点・30点	20点	30点	20点・30点	20点	8点
目標件数	130件	(一般競争入 札全て)	設定なし	150件	設定なし	250件	50件

※ 出典

対象額、目標件数：入札契約適正化法に基づく実施状況調査の結果について

(国土交通省総合施策局 建設業課入札制度企画指導室)

各県の評価項目と配点割合

評価項目	長崎県	福岡県	佐賀県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
施行計画							
配置予定技術者の能力	施工実績 技術者表彰 資格の保有年数	資格の保有年数 同種工事の工事成績 継続教育の状況	施工実績 資格の保有年数 継続教育の状況 地域内施工実績	施工実績 技術者表彰 資格の保有年数	施工実績 資格の保有年数 専門資格の保有（技術士） 継続教育の状況	施工実績 工事成績の最高点 （ヒアリング）	技術者表彰
企業の施工能力	施工実績 工事成績 工事表彰 当年度受注高 継続教育の状況 地域内における主たる営業所等の所在 地域内施工実績 社会貢献活動実績 従業員数 県内製品使用 安全管理の状況	工事成績 当年度受注高 継続的な技術者保有に基づく信頼度 地域内における主たる営業所等の所在	施工実績 工事成績 工事表彰 社会貢献活動実績	施工実績 工事成績 工事表彰 地域内における主たる営業所等の所在 社会貢献活動実績	施工実績 工事成績 工事表彰 契約後VE提案採用 地域内における主たる営業所等の所在 社会貢献活動実績	施工実績 工事成績 ISO等の取得状況 VE提案採用実績 地域内における主たる営業所等の所在 社会貢献活動実績 道路パトロール等または緊急施工工事の実績 障がい者の雇用状況	社会貢献活動実績
配点割合	4 : 3 : 3	4 : 3 : 3	3 : 3 : 4	1 : 1 : 1	4 : 2 : 4	4 : 2 : 4	8 : 1 : 1

※配点割合・・・施行計画：配置予定技術者の能力：企業の施工能力

特別簡易型（施工計画を求めない）の取り組み状況

	福岡県	佐賀県	大分県	宮崎県	鹿児島県
対象額	5 千 万 円 ～ 1 億 円	2千5百万円 ～ 6 千万円	5 千 万 円 ～ 1 億 円	2 千 万 円 ～ 8 千万円	設 定 な し (主に指名競争入札)
加算点	10点・20点	15点	10点	10点	7点

特別簡易型の評価項目と配点割合

評価項目	福岡県	佐賀県	大分県	宮崎県	鹿児島県
配置予定技術者の能力	資格の保有年数 同種工事の工事成績 継続教育の状況	施工実績 資格の保有年数 継続教育の状況 地域内施工実績	施工実績 資格の保有年数	施工実績 工事成績の最高点	施工実績 技術者表彰 継続教育の状況
企業の施工能力	工事成績 当年度受注高 継続的な技術者保有に基づく信頼度 地域内における主たる営業所等の所在	施工実績 工事成績 工事表彰 地域内における主たる営業所等の所在 機械自社保有状況	施工実績 工事成績 工事表彰 契約後VE提案採用 地域内における主たる営業所等の所在 社会貢献活動実績	施工実績 工事成績 ISO等の取得状況 VE提案採用実績 地域内における主たる営業所等の所在 社会貢献活動実績 道路パトロール等または緊急施工工事の実績 障がい者の雇用状況 新規学卒者雇用	施工実績 工事成績 地域内における主たる営業所等の所在 社会貢献活動実績 電子納品レベル
配点割合	1 : 1	7 : 8	3 : 7	3 : 7	2 : 5

※配点割合・・・配置予定技術者の能力：企業の施工能力

④ 総合評価落札方式の費用対効果（B／C）について

○費用（C）

- ・ 行政のコスト(人件費) $4 \text{ 名} \times 6 \text{ 百万円} = 24 \text{ 百万円}$
- ・ 企業のコスト(技術提案作成費) $791 \text{ 社} \times 0.2 \text{ 百万円} = 158 \text{ 百万円}$
- ・ 技術提案に伴う企業の追加負担（オーバースペック） $203 \text{ 百万円} \times 0.015 \times 0.6 = 1.82 \text{ 百万円}$

費用の合計	364百万円
-------	--------

○効果（B）

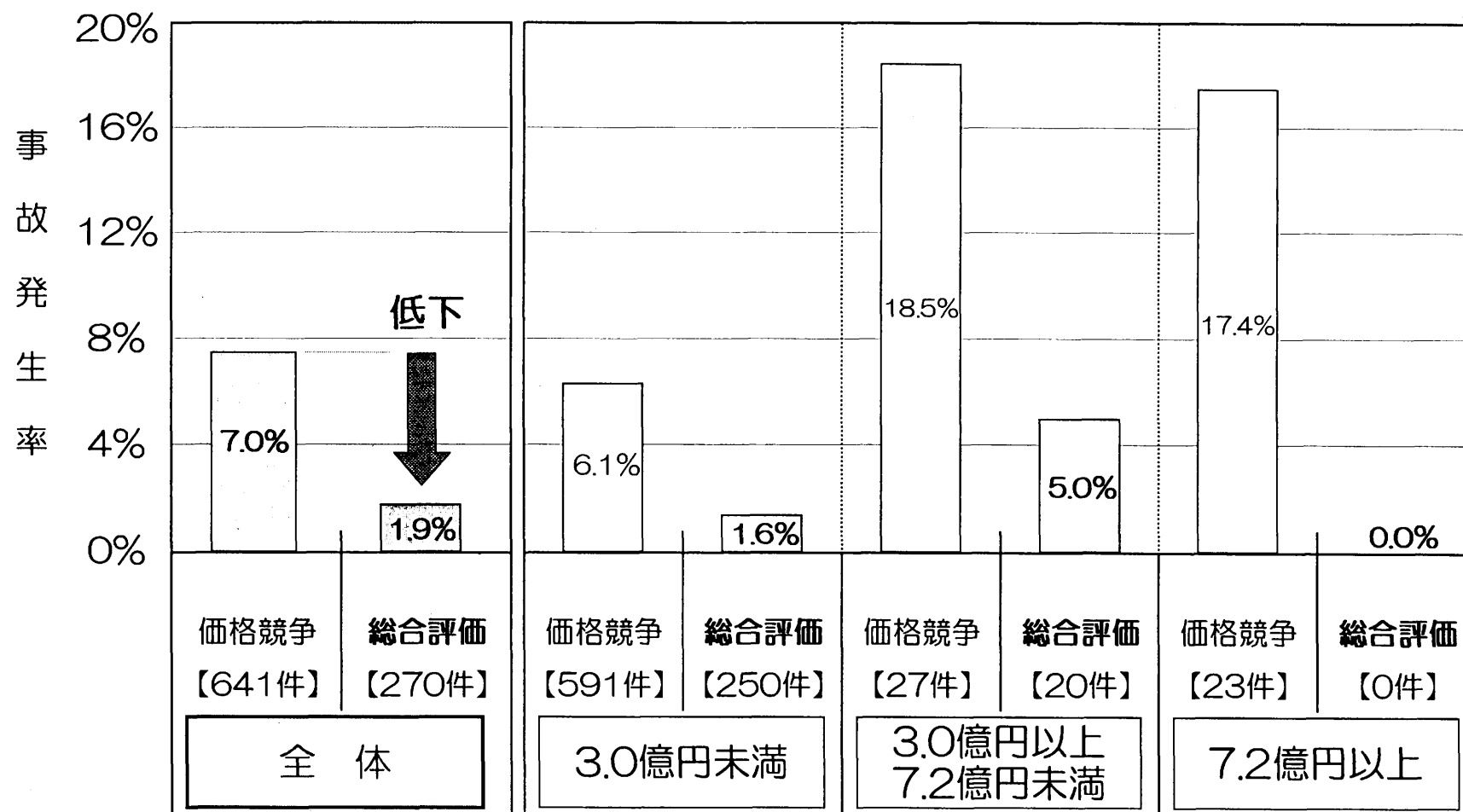
- ・ 工事成績評価は、価格競争に比べて 2.0ポイント上昇。 → 品質が高い
- ・ 総合評価落札方式の事故発生率（1.9％）は、価格競争（7.0％）よりも低い。
- ・ 労働基準監督署による安全パトロールにおいて、価格競争よりも評価が高い。

総合評価落札方式は、12月末時点で84件の約203億円について実施済み。
従来方式に加え、発注者及び受注者が新たに負担する費用（C）は約3億6千万円と推計される。

価格競争に比べ工事品質が高く、安全面の向上が図られるなどの定性的な効果は明らかであり、県民の安全・安心確保の面からコストに見合うだけの十分な社会的便益をもたらしている。

工事における事故の発生状況

【国土交通省調べ（H18年度完成工事）】



※ 事故発生率 = 延べ事故発生件数 / 工事件数

総合評価落札方式の定着に向けて

総合評価落札方式は、きちんとした工事が出来る企業に適正な価格で発注するための仕組みであり、「品確法」において、すべての公共調達へ適用するよう規定されている。

本県における試行対象金額の範囲や件数は、他県と比べても突出しておらず、今後とも定着へ向けた努力が求められている。

第1回委員会での課題とその改善案

【課題】

- ①公平性の向上
- ②透明性の向上
- ③試行対象選定のあり方
- ④受注企業の負担軽減
- ⑤オーバースペック対策

【改善案】

- ・当年度受注高の状況による評価（①）
- ・評価内容の公表（②）
- ・適用工事の設定（③）
- ・加算点の配分割合変更（①）
- ・特別簡易型の導入（①、②、④）
- ・オーバースペックの対応（⑤）

【課 題】：① 公平性の向上

【改善案】：当年度受注高の状況による評価

改訂後（平成20年12月1日以降）

（20点の場合）

評価項目・評価内容	評価基準	配点
当年度受注高の状況 （当該年度受注額÷ <u>5ヶ年度年間平均完成高</u> （受注額、完成高とも、土木一式工事））	比率0.25未満	0.5
	比率0.25以上～0.5未満	0.38
	比率0.5以上～0.75未満	0.25
	比率0.75以上～1.0未満	0.13
※ <u>5ヶ年度年間平均完成高</u> ・過去5ヶ年分の県発注工事の土木一式工事の平均受注額（最終請負契約額）	<u>比率1.0以上～1.25未満</u>	<u>0</u>
※公告する工事が土木一式工事の場合適用	<u>比率1.25以上</u>	<u>-0.5</u>

改訂前（平成20年11月30日以前）

（20点の場合）

当年度受注高の状況 （当該年度受注額÷ <u>年間平均完成高</u> （受注額、完成高とも、同一工事種別））	比率0.25未満	0.5
	比率0.25以上～0.5未満	0.38
	比率0.5以上～0.75未満	0.25
	比率0.75以上～1.0未満	0.13
※ <u>年間平均完成高</u> ・2年間または3年間の公共工事と民間工事を併せた年間平均完成工事高	<u>比率1.0以上</u>	<u>0</u>

【課 題】：② 透明性の向上

【改善案】： 評価内容の公表

20 建企第 605 号

平成20年12月15日

関係各課長 様
各地方機関長 様
（検査指導幹経由）

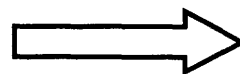
建設企画課長
（公印省略）

総合評価落札方式における落札決定後の評価内容説明について

総合評価落札方式の落札決定後に参加企業からの簡易な施工計画、施工計画書及び技術提案書の評価内容に対する問い合わせがあった場合、以下の取扱とします。

- ① 問い合わせがあった当該企業の簡易な施工計画、施工計画書及び技術提案書における評価した部分、評価していない部分（簡易型様式2号）（標準型様式2号、様式6号）を地方機関において説明する。
- ② 説明の際、2点、1点、0点は言わないこと。
- ③ 落札決定者へも同様の説明を行い、契約時の施工計画に反映させること。

企業の技術提案



技術提案の評価

様式2号：簡易な施工計画

工 事 名：	一般国道〇〇〇号道路改良工事
商号または 名 称：	(株)〇〇建設
評価項目	道路利用者に対する安全対策
地元自治会、小学校に工事内容、工程の説明を行う。 工事内容、工程を掲載した工事説明看板を設置し、2週間に1回内容を更新する。（別紙参照） 小学生の登下校を考慮し、施工時間を9時～16時とする。 夜間の歩行者及び通行車両の安全対策として、照明設備を設置する。（別紙参照）	

優	2 点
良	1 点
普通	0 点
評価しないもの	-

100%～75%超	12 点
75%以下～50%超	9 点
50%以下～25%超	6 点
25%以下～0%超	3 点
0%	0 点

一般国道〇〇〇号道路改良工事

公告の内容		評価内容		A		B	
評価項目	番号	内容	番号	提案内容	配点	提案内容	配点
道路利用者に対する安全対策	①	道路利用者に対する周知	①	地元自治会、小学校に工事内容、工程の説明を行う。 【提案内容が有効で、他より優れている】	2	地元自治会に工程、工事内容の説明を行う。 【提案内容が有効で良い】	1
	②	施工時間帯	②	工事内容、工程を掲載した工事説明看板を設置し、2週間に1回内容を更新する。（別紙参照） 【提案内容が有効で、他より優れている】	2	工事内容、工程を掲載した工事説明看板を設置する。（別紙参照） 【提案内容が有効で良い】	1
	③	工事不稼働時（夜間等）の対策	③	小学生の登下校を考慮し、施工時間を9時～16時とする。 【提案内容が他より優れている】	2	小学生の登校を考慮し、施工時間を9時からとする。 【提案内容が有効で良い】	1
配点割合（各配点合計／配点合計最高点）				8 / 8	=100.0%	3 / 8	=37.5%
評価点				12		6	

評価点の公表

各発注機関において閲覧により様式4-1で公表

様式4-1

総合評価落札方式評価表 【簡易型】

工事番号：20△◆第〇〇号

工 事 名：一般国道〇〇〇号道路改良工事

入 札 日：平成20年10月1日

No.	業者名	施工計画 12 点満点	配置予定 技術者の能力 9 点満点	企業の 施工能力 9 点満点	評価点合計 30 点満点	加算点 (=評価点合計) 30 点満点	備考
1	(株)〇〇建設	12	5.25	6.16	23.41	23.41	予定価格超過
2	〇〇建設(株)	6	3	5.4	14.40	14.40	
3	(株)〇〇組	3	4.5	-0.55	6.95	6.95	
4	〇〇組(株)	0	4.5	7.71	12.21	12.21	失格
5	(株)△△建設	9	7.5	5.52	22.02	22.02	
6	△△建設(株)	3	6.75	4.43	14.18	14.18	
7	(株)△△組	6	1.5	5.53	13.03	13.03	
8	△△組(株)	0	4.5	4.88	9.38	9.38	
9	(株)××建設	3	6	0.83	9.83	9.83	
10	××建設(株)	6	7.5	3.49	16.99	16.99	
11	××組(株)	12	3	3.93	18.93	18.93	落札者
12	(株)□□建設	0	6	4.31	10.31	10.31	

入札参加者より請求があった場合、その入札参加者に様式3で回答

様式 3 【簡易型】

別紙

総合評価落札方式・技術資料評価点内訳資料

発注機関名 ○○土木事務所
 入札年月日 平成20年10月1日
 工 事 番 号 20△◆第○○号
 工 事 名 一般国道○○○号道路改良工事
 入札参加者名 (株)○○建設

加 算 点 = (1) + (2) + (3) = 23.41 点

(1) 簡易な施工計画 (12点)

評 価 項 目	満点	得点
施工上配慮すべき事項	12	12

(2) 配置予定技術者の能力 (9点)

評 価 項 目	満点	得点
配置予定技術者の施工実績	3	3
表彰 (優秀現場技術者)	3	0
配置予定技術者の資格	3	2.25
小計	9	5.25

(3) 企業の施工能力 (9点)

評価項目		満点	得点
企業の施工実績		1.5	1.5
工事成績の評定		1.5	1.5
優秀工事表彰		1.5	0
当年度受注高の状況		0.75	0.38
継続的専門能力啓発システム（CPDS）		0.75	0.75
地域精通度	工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点	0.75	0.38
	管内の施工実績（当該工事と同一工事種別）の有無	0.75	0.75
地域貢献度	社会貢献活動の実績	0.6	0
	従業員数	0.45	0.45
	県内生産品使用	0.45	0.45
安全管理の状況		0	0
小計		9	6.16

公共工事の品質確保の促進に関する施策を 総合的に推進するための基本的な方針について

〔平成17年8月26日 閣議決定〕

政府は、公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成17年法律第18号。以下「法」という。）第8条第1項に基づき、公共工事の品質確保の促進に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針（以下「基本方針」という。）を、次のように定め、これに従い、法第9条に規定する各省各庁の長、特殊法人等の代表者及び地方公共団体の長は、公共工事の品質確保の促進を図るため必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

（中 略）

3 技術提案の審査・評価の実施に関する事項

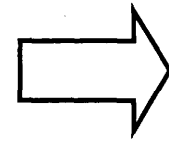
（2）技術提案の適切な審査・評価

（中 略）

各発注者は、説明責任を適切に果たすという観点から、落札者の決定に際しては、その評価の方法や内容を公表しなければならない。その際、発注者は、民間の技術提案自体が提案者の知的財産であることにかんがみ、提案内容に関する事項が他者に知られることのないようにすること、提案者の了承を得ることなく提案の一部のみを採用することのないようにすること等取扱いに留意するものとする。

今後の施工計画提案の公表のあり方

①入札公告に明記の
うえ、全企業の評価
内容を公表する。



- ・技術力の平準化
- ・企業の知的財産
権の侵害
- ・ペーパーカンパ
ニーを生む恐れ

②従来どおり。

【課 題】：③ 試行対象選定のあり方

【改善案】：適用工事の設定

入札参加資格要件における地域区分（土木一式工事）

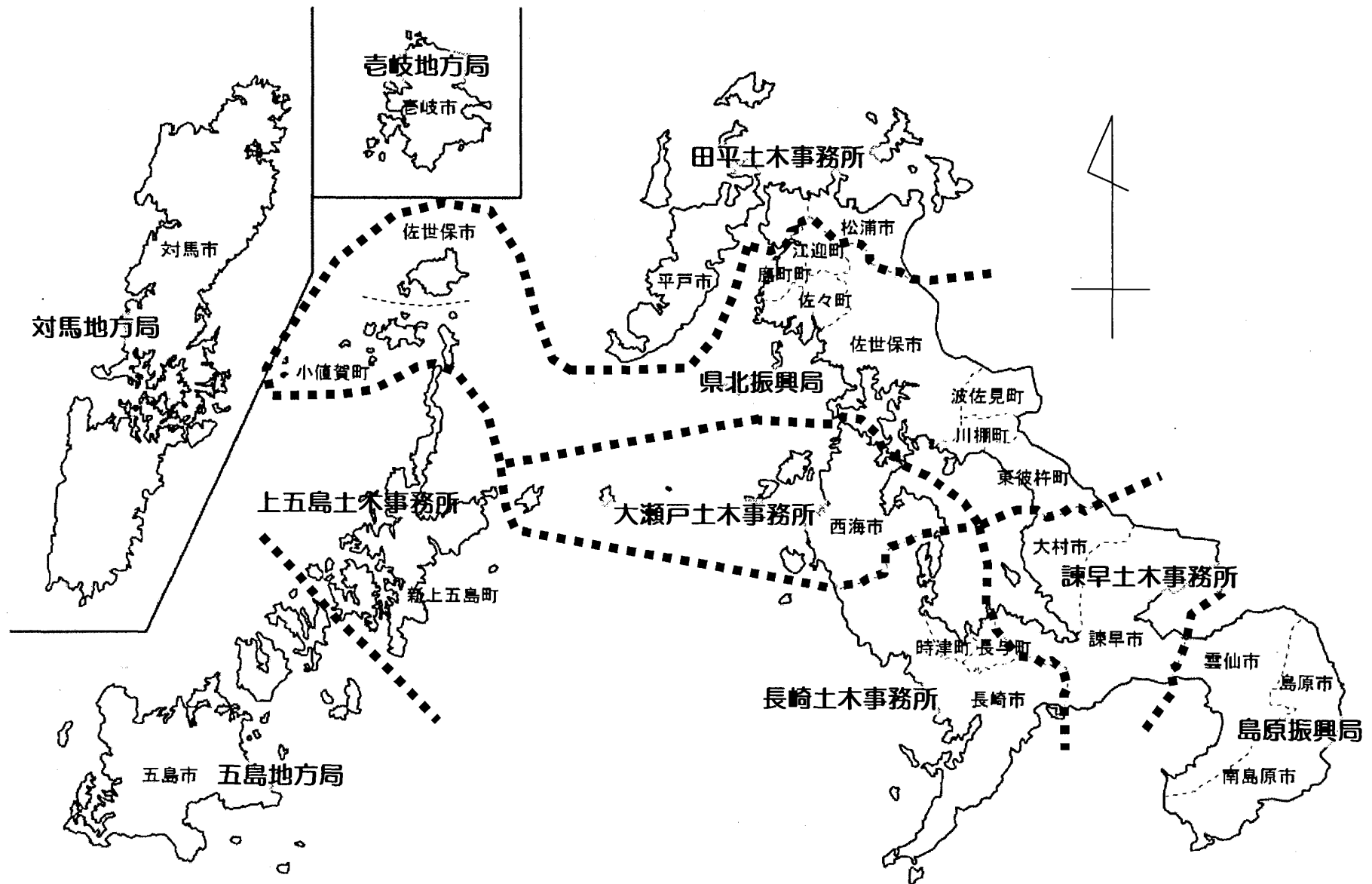
- ・ 県内企業で施工出来るものは県内企業に発注。
- ・ 発注金額が大きくなるにつれ、参加地域の範囲 … 地域内のみ→隣接地域内（を加える）→全県下へと拡大。
総合数値や主観点数 … より高く設定。
- ・ 地域外企業は、地域内企業より高い総合数値や主観点数が必要。
- ・ 一般競争入札は、競争性を担保する一定の参加可能業者数（概ね20～30者程度）を確保。

入札方式	金額（円）	格付区分	地 域 区 分 要 件
指名競争	3千5百万未満	D～Bランク	地域内企業(各土木事務所、建設部別)
一般競争入札	35百万～2億未満	Aランク	・ 地域内企業 ・ 一定数が確保できない場合は、隣接地域内企業や委任営業所の参加を認める。 なお、地域外企業の参加資格要件は、地域内企業より高く設定する。
	2億～3億未満	Aランク	・ 地域内企業に加えて、隣接地域内企業 ・ 一定の企業数が確保できない場合は、地域内の委任営業所や、県南や県北地域それぞれに属する施工能力が高い企業の参加を認める。 なお、地域外企業の参加資格要件は、地域内企業より高く設定する。
	3億～26.3億未満	Aランク	全県下の企業

隣接地域内：（長崎・大瀬戸）、（諫早・島原）、（県北・田平）、（五島・上五島）、（杵岐・刈馬）

県南区域：（長崎、大瀬戸、諫早、島原、五島）、県北区域：（県北、田平、上五島、杵岐、刈馬）

地域区分



【課 題】：④ 受注企業の負担軽減

【改善案】：特別簡易型の導入

特別簡易型の導入及び加算点

		平成20年度		改 善 案		
金 額（億円）	対象企業	件 数		加算点	方 式	加算点
原則1～2未満	地 域 内	78		20点 30点	特別簡易型	10点
2～3未満	隣接地域内	22	51		簡 易 型	20点
3～5未満	全 県	22				
5～26.3未満		1				
		6				
26.3以上 (WTO)		1		30点 40点 50点	30点	
合 計 件 数		130				

配分割合（施工計画：配置予定技術者の能力：企業の施工能力）

	平成20年度		改 善 案		
金 額（億円）	割 合	件 数		方 式	割 合
原則1～2未満	4:3:3	78		特別簡易型	0:3:7
2～3未満		22	51	簡 易 型	2:3:5
3～5未満		22			
5～26.3未満		1			
26.3以上 (WTO)	4:1:1	6	1		
合計件数		130			

【課 題】：⑤ オーバースペック対策

【改善案】：オーバースペックの対応

工事費内訳書

工種／種別／細別	単位	数量	単価	金額
道路改良				80,934,760
道路土工	式	1.0		19,967,240
ブロック積工	式	1.0		60,967,520
直接工事費				80,934,000
共通仮設費率分	%	9.30%	80,934,000	7,526,862
技術管理費	式	1.0		390,000
共通仮設費計				7,916,000
純工事費				88,850,000
現場管理費	%	23.70%	88,850,000	21,057,000
工事原価				109,907,000
一般管理費	%	3.90%	109,907,000	4,286,000
合計				114,193,000

+

技術提案実施に必要な費用	式	1.0		500,000
入札額				114,693,000



長崎県

2009年01月19日 09時54分

入札情報サービス

電子入札システム

検証機能

説明書

調達案件検索

調達案件一覧

入札状況一覧

登録者情報

保存データ表示

事後審査状況一覧

JV案件一覧

入札書

発注者名称等

テスト長崎県知事 ○○○○

調達案件番号

00019900009980820080165

工事／委託番号

001020045

調達案件名称

テスト県道20号道路改良工事

工事場所

長崎市江戸町2-13

工事日数等

平成21年01月29日

執行回数

1回目

締切日時

平成21年01月19日 17時30分

入札金額[半角で入力してください]

〈入力欄〉

114693000

〈表示欄〉

円(税抜き)

114,693,000 円(税抜き)

1億1469万3000 円(税抜き)

内訳書

内訳書追加

表示

参照...

※ 添付資料の送付可能サイズは2MB以内です。

添付可能なファイルは1ファイルのみです。

尚、添付ファイルは、ウイルスチェックを最新版のチェックデータで行って下さい。

添付済みのファイルに別のファイルを添付すると上書きされます。

商号又は名称

(株)建設企画課

代表者氏名

建設 画太郎

< 連絡先 >

連絡先名称

本社

連絡先氏名

建設 画太郎